

《2024》 音楽Ⅱ シラバス

科目名	芸術（音楽Ⅱ）	単位数	2単位	実施予定授業数	70時間
-----	---------	-----	-----	---------	------

☆学習の到達目標

学習の 到達目標	1年次の授業内容を発展させたものである。表現の分野では、芸術歌曲を中心とした独唱曲をはじめ、より高いレベルの歌唱教材に取り組む。器楽表現では1年次の時に組んだリコーダーの発展的な課題に取り組む。鑑賞の分野では、西洋音楽史のロマン派以降を中心に、またミュージカルの鑑賞によって感受性を高めたい。楽典と共にキーボードの基礎的な演奏を身につける。 （1）音楽の構造や歌詞との関りについて理解し、創意工夫を生かした曲想・歌唱表現をする。【知識・技能】 （2）音色、リズム、テンポ等の音楽表現を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように演奏表現をするか、思考や表現能力を養う。【思考力・判断力・表現力】 （3）曲想と音楽の構造や歌詞など、文化的・歴史的な背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に、表現や鑑賞する能力を養う。【主体的に学習に取り組む態度】
使用教科書・ 副教材等	教科書 ON!2 [音楽之友社] 図解 ゼロから分かる！クラシック音楽 [世界文化社]

☆評価基準・評価方法（表現・鑑賞）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	歌唱表現並びに器楽表現については、評価基準の（ア）（イ）（ウ）について理解を深め、創意工夫を生かした表現能力を求める。 鑑賞能力については、授業等における説明の理解度で、知識・技能が身に付いたか判断する。（40%）	楽曲構成、作品の時代背景や世界各国の文化の交流を知覚・感受し、自己のイメージと合わせた表現ができる能力を養う。 音楽形式の要素や時代背景や国々の関連を知覚・感受した鑑賞活動ができている。（30%）	主体的・協働的に歌唱表現や器楽表現の活動に取り組もうとしている。 鑑賞の学習活動も同様とする。 主体的・協働的に、鑑賞の学習活動に取り組んでいる。（30%）

☆学習計画

学期	月	題材名	教材名	学習活動（評価規準）	評価方法	時数
第1学期	4	導入	授業の進め方 (ガイダンス)	学習活動、実技表現活動の取り組み方、座席等についての指導。	観察・聴取	
	5	楽典 ①楽譜の読み方 書き方	リズム、拍子の読み方 (リズム聴音) (メロディー聴音)	☆音楽の基礎力育成（楽典） 学習プリント（記号や音符）の記入を通して、次の事項を身に付けている。	課題震度状況 学習プリント	2 4
	6	歌唱	校歌 365日の紙飛行機 上を向いて歩こう	（ア）楽譜の正しい読み方を身に付け、表現活動にいかされるようにする。	<u>（身に付けている）</u> 【知識・技能】	
	7	鑑賞	「世界の歌曲を歌う」 O mio babbino caro Torna a Surriento Wiegenlied Beauty&Beast Tonight 涙そうそう おお シャンゼリゼ	（イ）曲種や楽曲の構成に応じた様々な発声方法について学び、それぞれにふさわしい表現になるように工夫する。 （ウ）楽曲の作曲者やその時代の歴史的時代背景を学び、現代の生活や文化の関わりを主体的に感受し、創意工夫をもって表現活動をしている。	【歌唱実技テスト】 <u>（表現している）</u> 【思考力・判断力・表現力】	8 8
					【主体的に学習に取り組む態度】	6
					【歌唱実技テスト】	(28)
				【知識・技能】 ○課題実技テスト（80%） ○課題・授業プリント（20%）		
				【思考・判断・表現】 ○課題実技テスト（80%） ○実習・課題レポート（20%）		
				【主体的に学習に取り組む態度】 ○実技実習（60%） ○課題・授業プリント（40%）		
				【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ実技テストや授業プリント&課題レポートを総合的に勘案・数値化し、各観点を40%：30%：30%の割合で総括して10段階の評定を判断する。		

《2024》 音楽Ⅱ シラバス

学期	月	題材名	教材名	学習活動（評価規準）	評価方法	時数	
第2学期	8	鑑賞 ミュージカル	「ウエスト・サイド ストーリー」 歌謡曲 世界で一つだけの花 チェリー	☆ミュージカルについて学び、作品を鑑賞する。	観察・聴取	4	
	9	楽典 ①ソルフェージュ	視唱 聴音 写譜	☆音楽の基礎力育成（楽典） J ポップ等の歌謡曲の歌唱を通し、明るく伸びやかな発声を心がける。 学習プリントの記入を通して、次の事項を身に付けている。	課題進度状況 学習プリント	4	
	10	器楽（歌唱） リコーダー・アンサンブル	アーティキュレーションの練習 「Hey Jude」 （デュエット） 「愛の夢」 （ソロ曲）	（ア）読譜能力を身に付け、表現活動に生かされるようにする。 （イ）曲種や楽曲の構成に応じた様々な発声方法について学び、それぞれにふさわしい表現になるように工夫する。	（身に付けている） 【知識・技能】 【歌唱実技テスト】 （表現している） 【思考力・判断力・表現力】	8 8 6	
	11	鑑賞	名曲アルバムで綴る西洋音楽史	（ウ）楽曲の作曲家やその時代の歴史的時代背景を学び、現代の生活や文化の関わりを主体的に感受し、創意工夫をもって表現活動をしている。	【主体的に学習に取り組む態度】 【器楽実技テスト】	(30)	
	【知識・技能】 ○課題実技テスト（80%） ○課題・授業プリント（20%）						
【思考・判断・表現】 ○課題実技テスト（80%） ○実習・課題レポート（20%）							
【主体的に学習に取り組む態度】 ○実技実習（60%） ○課題・授業プリント（40%）							
【2学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ実技テストや授業プリント＆課題レポートを総合的に勘案・数値化し、各観点を 40%：30%：30%の割合で総括して 10 段階の評定を判断する。							
学期	月	題材名	教材名	学習活動（評価規準）	評価方法	時数	
3学期	12	鑑賞	名曲アルバムで綴る西洋音楽史	☆音楽の基礎力育成（楽典） 歌謡曲の歌唱を通し、明るく伸びやかな発声を心がける。 学習プリントの記入を通して、次の事項を身に付けている。	観察・聴取	6	
	1	歌唱	旅立ちの日に 未来へ Best Friend ありがとう いい日旅立ち	（ア）読譜能力を身に付け、表現活動に生かされるようにする。 （イ）曲種や楽曲の構成に応じた様々な発声方法について学び、それぞれにふさわしい表現になるように工夫する。	課題進度状況 学習プリント （表現している） 【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【主体的に学習に取り組む態度】		
	2		YELL	（ウ）楽曲の作曲家やその時代の歴史的時代背景を学び、現代の生活や文化・芸術の関わりを主体的に感受し、主体的に学習理解を図ろうとしている。	（身に付けている） 【筆記テスト】	6 (12)	
	【知識・技能】 ○課題テスト（80%） ○課題・授業への取り組み（20%）						
	【思考・判断・表現】 ○課題テスト（80%） ○実習・課題レポートへの取り組み（20%）						
【主体的に学習に取り組む態度】 ○実技実習（60%） ○課題・授業プリントへの取り組み（40%）							
【3学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ実技テストや授業プリント＆課題レポートを総合的に勘案・数値化し、各観点を 40%：30%：30%の割合で総括して 10 段階の評定を判断する。							
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれに総合的に勘案・数値化し、年間の実技能力及び読譜能力を総合的に 10 段階及び 5 段階評定で判断する。（学期末の評定）							